

オープンソース最新動向

～ LAMPによる商用システムの構築 ～

主 催 山 形 県

山形県オープンシステム研究会

<受講のすすめ>

～ オープンソースで変わるシステム開発 ～

海外ではLAMP（Linux、Apache、MySQL、PHP）が、少人数、短納期のWebアプリケーション開発手法として定着しています。J2EEが全盛の基幹系Webシステムにも、各種オープンソースの採用が増えると言われています。システム開発はこれからどう変革するのでしょうか。

オープンソースは「透明性」と「非独占」が保証されるものの、ソースを頼りに自己解決する技術力、英語コミュニケーション能力が要求されます。参画しなければ情報が得られない仕組みは、普及の妨げでした。一方、先行するJavaは、サンマイクロシステムズやIBM、BEAなど各社がJCP準拠の製品を提供することで、急速に普及しました。

このほどオープンソース・ジャパン株式会社が、LAMPに関する国内サポートを開始しました。大企業や自治体におけるJ2EEに代わる基幹系情報システムの選択肢として、各種オープンソース技術が正式採用される可能性が開けたのです。

本講演では、ゼンド・ジャパン、ゾープ・ジャパン、イーセキュリティ・ジャパンをグループ企業とするオープンソース・ジャパン代表取締役社長兼CEO **角田好志** 氏を講師にむかえ、企業・自治体向けオープンソース普及の現状について伺います。変革するオープンソース・ビジネスを考える機会として、多くの方にご参加をおすすめします。

記

- 1 日 時 平成17年 3 月 3 日(木) 13:30～16:00 (2.5時間)
- 2 場 所 山形県産業創造支援センター 多目的ホール
〒990-2473 山形市松栄一丁目3番8号 (Tel 023-647-8111)
- 3 講 師 日本オラクル株式会社
東北支社支社長 佐々木 賢一 (SASAKI, Kenichi) 氏

オープンソース・ジャパン株式会社
代表取締役 兼CEO 角田 好志 (KAKUTA, Koshi) 氏

【講師略歴】

- 1969年 三井銀行入行、システム開発部や国際部に在籍。三井銀行ソフトウェアサービスに出向し、黎明期のPC-LANの構築などに取り組む。
 - 1991年 さくら銀行と昭和電線電纜の合併企業アクシオ（ネットワークSI会社）の常務取締役役に就任。
 - 1997年 大塚商会の支援を受けテンアート二（JavaとLinuxに関するSI会社）を設立し、代表取締役社長に就任。
 - 2002年 1月 テンアート二代表取締役会長。
 - 2002年12月 ゼンド・オープンソースシステムズを設立し代表取締役社長を兼務。
 - 2003年 2月 テンアート二取締役を退任。
 - 2004年 9月 ゼンド・オープンソースシステムズをオープンソース・ジャパンに社名変更し代表取締役兼CEOに就任。
- 他に、NPO法人OSCARアライアンス事務局長として活躍。

【主な著書】

- 2004年 4月 「ITマネジメントの常識を疑え！」（日経BP社）
雑誌や新聞への執筆多数

4 内 容

<p>第1部 13:30～14:00</p>	<p>「東北におけるオープンソースの取り組み ～現状と課題～」 講師：日本オラクル株式会社東北支社 支社長 佐々木賢一 氏</p>
<p>第2部 14:15～16:00</p>	<p>「オープンソース・ビジネスと地域活性化」 講師：オープンソースジャパン株式会社 代表取締役社長兼CEO 角田好志 氏</p> <p>オープンソースの重要性は、単に価格面での「経済性」メリットだけではない。セキュリティ問題が顕在化している昨今、非公開の商用プロプライエタリ・ソフトを採用することは大きなリスクである。システムの「透明性」を維持することこそが重要である。また、社会インフラを支える公共システムにおいては、特定ベンダーへの依存度を下げ、「非独占性」を維持することも求められる。</p> <p>欧州の国々は、これらの背景からオープンソース活用を積極的に推進してきた。一方、中国はじめアジア諸国においては、高価なパッケージ・ソフトウェアへの対抗手段として、国をあげてのオープンソースへの取り組みを行っている。パッケージ・ソフトウェアの文化を育てた米国においても、経済性を追求する企業で採用されはじめた。この状況を受け、日本では政府系からオープンソース活用の波が起きようとしている。</p> <p>実は、このオープンソースのビジネス化こそが、「地産地消」を目指す地域活性化のキーワードになると確信している。昔から「ソフトウェアの仕事は紙と鉛筆があればできる」と言われてきた。ブロードバンドのネットワーク基盤が整った今、地方におけるオープンソース開発環境は東京の大手ベンダーと対等であるし、海外コミュニティへの参画も可能である。あとは「仕事をどう受注してくるか」である。</p> <p>地場での開発案件にオープンソースを提案し、自社の強みが発揮できるソフトウェア分野を育成する。その成果を日本全国にアピールすることで、オフショアに向かいかけたソフトウェア産業を、再びそれぞれの地域に呼び戻したいものである。</p> <p>日本の情報システム産業の特徴 問題点とオープンソースによる解決 オープンソースの歴史 オープンソースの条件とライセンス 情報化投資削減ステップ JavaではなくLAMP技術 オープンソース・ビジネスの方向性 パッケージ・ソフトウェアの限界 オープンソース活用事例の拡大 地域SI企業の強み発揮可能性大</p>

- 5 参加費 無料
- 6 定員 50名程度
- 7 申込期限 平成17年3月1日(火)
申込書をFAXください。電子メール、Webでも申し込みできます。
mailto:seminar@aic.pref.yamagata.jp http://www.aic.pref.yamagata.jp/
- 8 連絡先 山形県産業創造支援センターデザイン・情報課
金内秀志 (KANAUCHI, Shushi)、多田伸吾 (TADA, Shingo)
〒990-2473 山形市松栄一丁目3番8号
Tel 023-647-8111 , Fax 023-647-8118

山形県産業創造支援センター デザイン・情報課
LAMP講演会窓口 宛
TEL023-647-8113, <http://www.aic.pref.yamagata.jp/>

講演会参加申込書

貴社名		
貴社住所	〒	
代表者名	(所属・役職) TEL : - -	
課程名	<p style="text-align: center;">オープンソース最新動向 ～ LAMPによるシステム構築ビジネス～</p> <p style="text-align: center;">オープンソースジャパン株式会社代表取締役社長兼CEO 角田好志 氏</p>	
開催日	平成17年3月3日(木) 13:30～16:00	
会場	山形県産業創造支援センター 多目的ホール 〒990-2473 山形市松栄1-3-8 TEL023-647-8111	
会費	無料	
申込期限	平成17年3月1日(火)	
受講者1	フリガナ	
	氏名	
	所属・役職	
受講者2	フリガナ	
	氏名	
	所属・役職	
受講者3	フリガナ	
	氏名	
	所属・役職	

【備考】

1. Webでの申し込み受付も行っております、ご利用下さい。
<http://www.aic.pref.yamagata.jp/>
2. 本申込書をもって受講票とさせていただきますので、当日受付に提出ください。
3. 4名以上のお申し込みの際は、本申込書をコピーしてお使い下さい。